

支援員の思い

社会就労センター ライン工房 赤星 寛

ライン工房ではパン、焼き菓子の製造に加え受注作業、コーヒーの焙煎等様々な仕事があります。メンバーは日々、ご自身で選択された作業内容を頑張っておられます。メンバーと向き合っていく中で作業についての会話は勿論ですが、日常的な生活面の不安、ご自身の今後、対人面等、様々な会話を交わします。お話を聞くことで必要に応じて情報提供を行う事もあれば、一緒に解決出来る問題については解決に向かうよう支援することもあります。皆さんが日々抱えている不安や悩み等があれば、それを出来る限り軽減していくことで“楽しく働く”ことに繋がっていくのだと思います。その為、出来るだけ多くのメンバーさんと関わりを持ち会話することを心がけています。メンバーから話しにくい支援者へならないよう、積極的に日常的な会話を交わし、その中から思いを出来るだけ多く汲み取れる支援者でありたいと思います。



熊本市障がい者相談支援センター 青空 益永 麻里子

青空で相談の担当をしている益永です。

熊本市において、相談支援の拠点作りとして、4年前より市内9か所に支援センターが整備され、青空もその一つになりました。私も、相談支援専門員の一人として、大ベテランのお二人とともに、支援センターに配属されました。

配属が決まったと聞いたときは、まだ、知識も経験も浅い私に果たしてちゃんと務まるだろうかと、とても大きな不安があったことを思い出します。

実際に始めてみると、障がいや様々な病気、制度等分からないことだらけで、相談に来られる方に対して申し訳ないと思うこともありました。でも、わざわざ、相談に来られた方にご迷惑はおかけできませんので、分からないことは、その都度一つ一つ調べて、きちんとお伝えできるよう心掛けました。

うまくいかずに落ち込む事や悲しい事もありますが、青空の事務所で、話を聞いてもらったり、お互いに助言し合い、協力し合い、スタッフとの何気ない会話で大笑いしたりして、気持ちを切り替える事ができ、家に持ち帰らないようになったのは、私の中での成長した部分かもしれません(^^)

業務が煩雑な中でも、悩みを吐き出せる雰囲気を作ってくれる青空のスタッフには感謝感謝です。その中で、私が皆にお返しできる事を見つけながら頑張っていきたいと思います！(^^) /